

読み研とは？

「読み」の授業研究会(読み研)は、
子どもたちに深く豊かな国語の力を身につけさせるための方法
を体系的に解明している国語科の研究会です。



読み研は1986年に設立された、非会員制の国語科の研究会です。
毎年、夏の大会、冬の研究会などの研究会を開催しています。
研究内容は、年一回発行の『国語授業の改革』(学文社)、『研究
紀要』、年4回発行の『読み研通信』等で発信しています。

読み研は、2021年に設立35年を迎えました。
日々、国語科教育の世界に新しい問題提起を行っていきます。

web <https://yomiken.jp> twitter @yomiken1986

参加お申込方法

step1 「こくちーず」Webサイトから参加申込の手続きを行ってください。

申込URL https://www.kokuchpro.com/event/yomiken_summer35/

読み研 こくちーず で検索！

またはQRコードから ▶



step2 手続き完了後、お申込完了メールが届きます。

メールには、Zoomの接続方法に関する記載がございますので、
当日まで大切に保管ください。



step3 メール記載の口座(銀行または郵便局)に参加費のお振り込み
をお願いします。

事前に大会テキストを送付するため、早めのお振り込みをお願いいたします。

step4 大会当日に使用するテキスト『国語授業の改革21』(学文社)
がお申込住所に郵送されます。

大会テキストとして使用しますので、当日はお手元にご用意ください。



大会
当日

当日は、開会30分前からZoomに接続できます。
接続方法はお申込完了メールに記載しています。



大会についてのお問い合わせ

第35回夏の大会事務局 鈴野 高志 (茗溪学園中学高校)
info2010@yomiken.jp

主催 「読み」の授業研究会

「読み」の授業研究会

第35回 夏の大会



「対話的で深い学び」を生み出す！

国語科の教材研究力

教材研究の深さこそが
「対話的な学び」「深い学び」を実現する

zoom による オンライン開催

2022年 8月20日(土)10:30 >> 21日(日)13:00

参加費 ¥5,000 (学生 ¥3,000)

※大会テキスト『国語授業の改革21』(学文社)一冊の代金(2530円)を含む。

8月20日(土)

物語・小説

10:00-	Zoom開場		
10:30-10:40	夏の大会 趣旨説明 永橋 和行 (立命館小学校)		
10:40-12:00 (80分)	>> 物語・小説の入門講座 物語・小説の授業で「対話的で深い学び」を実現する 使用教材 「ごんぎつね」(新美南吉) ほか 熊添 由紀子 (八女市立見崎中学校)		
A~C から選択式 13:00-14:30 (90分)	>>ワークショップ的分科会Ⅰ 「対話的で深い学び」を生み出す 物語・小説の教材研究力		
	A 小学校 使用教材 「大造じいさんとガン」 (棕鳩十) 「白いぼうし」 (あまんきみこ) 加藤 辰雄 (読み研運営委員)	B 中学校 使用教材 「字のない葉書」 (向田邦子) 「故郷」 (魯迅) 渡邊 絵里 (久留米市立三瀬中学校)	C 古典 使用教材 「徒然草」 (兼好) 「枕草子」 (清少納言) 大庭 珠枝 (由利本荘市立東由利中学校)
14:50-16:30 (100分)	>> 記念講演 阿部 昇 (秋田大学 名誉教授) 「対話的で深い学び」を生み出す! 国語科の教材研究力を高めるための10の切り口		
A~C から選択式 16:50-18:10 (80分)	>> 講座 定番の物語・小説の教材研究をきわめる!		
	A 使用教材 「ちいちゃんのかげおくり」 (あまんきみこ) 臺野 芳孝 (読み研運営委員)	B 使用教材 「走れメロス」 (太宰治) 杉山 明信 (茗溪学園中学校)	C 使用教材 「羅生門」 (芥川龍之介) 岸 あゆり (北鎌倉女子学園中学校) 建石 哲男 (川崎市立川崎高校)

8月21日(日)

説明文・論説文 | 物語・小説

8:30-	Zoom開場	
A~C から選択式 9:00-10:30 (90分)	>> A 説明文・論説文の入門講座 説明文・論説文の授業で「対話的で深い学び」を実現する 使用教材 「すがたをかえる大豆」(国分牧衛) ほか 町田 雅弘 (茗溪学園中学高校)	
	>>ワークショップ的分科会Ⅱ 「対話的で深い学び」を生み出す 説明文・論説文の教材研究力	
10:50-12:50 (120分)	B 小学校 使用教材 「うみのかくれんぼ」 「じどう車くらべ」 「どうぶつのお赤ちゃん」 (増井光子) 鈴野 高志 (茗溪学園中学高校)	C 中学校 使用教材 「『言葉』をもつ鳥 ジュウカラ」 (鈴木俊貴) 「モアイは語る」 (安田喜憲) 土屋 大輔 (佐久市立白田中学校) 中沢 照夫 (佐久市立中込中学校)
	>> 全体模擬授業 教材研究の深さ・豊かさを生かした「やまなし」(宮沢賢治)の授業 使用教材 「やまなし」(宮沢賢治) 授業者 熊谷 尚 (秋田市立牛島小学校) 指定討論者 小林 信次 (元・日本福祉大学)	
12:55-13:00	研究のまとめ/閉会 阿部 昇	

この夏は国語科の教材研究力を高める方法を解明します!

「対話的な学び」「深い学び」を実現していくためには、教材を深く豊かに検討していくことが求められます。しかし、国語科の教材研究、教材研究力について語られ論じられることは、限定的です。今年の夏の大会では、教師が質の高い「国語科の教材研究力」を身につけるための筋道を示していきます。どういふことに気をつけて教材研究を進めていけばよいか? どうすれば国語科の教材研究力を高めることができるか、切れ味よく解明します。

「読み」の授業研究会代表 **阿部 昇**
 秋田大学 名誉教授・東京未来大学 特任教授

